

第11回全国棚田(千枚田)サミット開催10周年記念シンポジウム 地域の宝 これからの千枚田保全について探る ～みんなで語ろう千枚田～

平成17年、第11回全国棚田(千枚田)サミット開催から、はや10年。前後して、平成15年に「農村アメニティ・コンクール農林水産大臣賞」、平成21年には「田園自然再生活動コンクール農林水産大臣賞」、平成27年においては「美の里づくりコンクール審査員特別賞」など数々の賞を賜ったところでもあります。

また、平成23年開催の生物多様性国際会議(COP10)においては、愛知県の招致活動に貢献、同会議のエクスカージョン会場として世界各地から多くの方が訪れるなど、世界に名を知らしめる「日本の顔」としても「ゆるぎない地位」を築くことができました。この地も平成の初頭には来訪者もまばらでしたが、現在では年間2万人を超える人々が「憩」、「癒し」を求め、訪れます。しかし、「寄る年波には勝てず」の言葉どおり「耕作者の高齢化、担い手不足」、生態系環境変化による「獣害被害」など、課題や問題が山積されていることは紛れもない事実であります。

このシンポジウムでは、課題や問題を含め、今後の保全の在り方を探るべく、基調講演を始め、行政、保全活動先進地組織、地域住民を交えての「ディスカッション」により四谷の千枚田を連谷地域の中核と位置付け「一筋の光明」を見出す「集い」となればと願っております。

プログラム

(都合により変更する場合があります)

- 第1部 10:00 現地見学 自由参加 (千枚田駐車場)
- 第2部 12:30 シンポジウム受付 (連谷小学校体育館)
- 13:00 和太鼓集団「志多ら」演奏ライブ
- 14:00 開 会 主催者あいさつ
来賓祝辞
感謝状贈呈
- 14:20 基 調 講 演
- 15:00 ディスカッション
車座会議「これからの千枚田を語ろう」
- 15:45 まとめ
- 第3部 16:00 千枚田の取り組み
「作品展」連谷小学校児童ほか キッズルーム
- 第4部 16:45 懇親会 (会費制)



奥三河を拠点に活動する和太鼓集団「志多ら」の演奏を是非、観に来て下さい。

四谷の
千枚田だよ
四谷の千枚田

第144号

基調講演 テーマ「日本棚田百選とこれからの棚田」

中島峰広 (敬称略)

早稲田大学名誉教授、日本の農業地理学者、学術博士、畑地灌漑・棚田研究の第一人者
棚田百選の選定委員、棚田学会 顧問、NPO 法人棚田ネットワーク代表

主な著書 「続百選の棚田を歩く」、「百選の棚田を歩く」、「日本の棚田」、「現代の地理 敬授資料」

オブザーバー

田口 譲 NPO 法人坂折棚田保存会理事長(恵那市)

高野光世 NPO 法人棚田ネットワーク 理事

「Tシャツを着て来て
おくれんのん」

日 時 平成27年9月5日(土)

13:00~16:30

会 場 四谷の千枚田

連谷小学校体育館

入 場 無 料

主 催 鞍掛山麓千枚田保存会

共 催 連谷お助け隊・棚田っ娘

連谷小学校 PTA・連谷公民館

明老クラブ・四谷区 連合区

愛知県ふるさと指導員・新城市

連絡場所

新城市鳳来総合支所

地域整備課

☎ 0536-32-1984

よう来たのん！癒されるだらあ～

プレスツアー

八月七日、三河山間誘客事業事務局山里創造社が企画したプレスツアーに(舜)が対応した。そもその経緯は七月五日のバスツアーで「四谷の千枚田」の多面的機能、地域の宝と位置付けた「むらづくり」、文化の継承等々を盛り込んだ説明に興味を抱き、今回のプレスツアーを企画されたと聞く。



参加者は雑誌社(講談社・新潮社・宝島社・婦人画報)、旅行社(自由人、中日ツアーズ、HIS 関西バス予約センター)、庵本舗大阪、CBC クリエ

イション)、愛知県振興部地域政策課山村振興室など十五名が来訪、概要説明に興味深々であった。

質問① あまり大勢が訪れたら迷惑ではないかとの間に二十五年前は疎らであったが、今では二万人を越す人が訪れる。ごく一部には「鬱陶しい」と聞くが国民の税金が投入され、作業道を整備、農作業が見違えるほど軽減された。同時に癒し空間として「ふれあい広場」など各施設整備も行われ、都市近郊から訪れる人々にも「ふるさと」を思い起こす格好の場となり、市、県の顔と位置付けられた。これらを理解して耕作者や地域住民は「四谷の千枚田」を中核に「むらづくり」に情熱を注いでいる。と答えた。

質問② 保存のため、見学者からの協力金などの考えは・・・仮設トイレに協力金箱を設置してあるが、年間、数千円程度、また、泥棒の養成所(盗まれる)化されてしまう。

訪れた皆さんは世間に広いから、何か、よい案があったら逆に教えて頂きたい。兎にも角にも保存会はボランティアであって日本一の器量を持った千枚田を抱えているもの、恥ずかしながら、貧乏では他に比類は無い。と締めくくった。

念仏踊り

身平橋組では若い衆の「はねこみ」と中老衆の先祖供養「念仏」が八月十三日に海源寺で、十四日には小山勝由さん宅と中村直人さん宅で初盆供養(庭受け)が厳かに行われた。



納涼盆踊り

八月八日、公民館主催の恒例、納涼盆踊りが小学校の運動場で盛大に行われ賑わった。



空から見た東海地方



八月十七日、東海テレビ九時五十分からの「スイトッチ」でドローン撮影による青々とした千枚田と五月十八日放送の映像も使いながら季節の移つろいによる対比等が放映される。楽しみだ・・・。

近況

・八月十八日、連谷敬老会は初盆供養を行う。
・八月二十一日、奥三河地域雇用創造協議会は奥三河体感モニターツアーを企画。名古屋圏から三十名が参加、「棚田つ娘」の五平餅を食味。
・九月十三日、敬老会が公民館主催で開催される。

お知らせ

八月二十九日、保存会事業として「ふれあい広場」などの環境整備、草刈りを実施します。

行 平成二十七年八月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山 舜 二